

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成23年7月21日 (2011.7.21)

【公開番号】特開2010-54593(P2010-54593A)

【公開日】平成22年3月11日 (2010.3.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-010

【出願番号】特願2008-216722(P2008-216722)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

G 0 3 F 7/004 (2006.01)

G 0 3 F 7/032 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

C 0 8 F 2/44 (2006.01)

C 0 8 F 290/04 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 B 5/20 1 0 1

G 0 3 F 7/004 5 0 1

G 0 3 F 7/004 5 0 5

G 0 3 F 7/032

G 0 2 F 1/1335 5 0 5

C 0 8 F 2/44 Z

C 0 8 F 290/04

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月1日 (2011.6.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 9 】

本発明で用いる (A) 顔料分散剤における当該酸性硫酸エステル及び / 又はスルホン酸化合物の含有量は、良好な顔料分散安定性が発揮されるのであればよく、特に制限はないが、一般に前記一般式 (I) で表される窒素含有モノマー由来の構成単位に含まれるアミノ基に対して、0 . 0 5 ~ 4 . 0 モル当量程度、好ましくは 0 . 1 ~ 2 . 0 モル当量、より好ましくは 0 . 2 ~ 1 . 0 モル当量である。なお、酸性硫酸エステルとスルホン酸化合物とを併用する場合、これらを合計した含有量が上記範囲内にあればよい。